

「再生可能エネルギーの主力電源化に向けた  
次々世代電力ネットワーク安定化技術開発」の概要

1. 事業概要

- ・研究開発項目 1 「疑似慣性 PCS の実用化開発」 ※今回採択された項目
- ・研究開発項目 2 「M-G セットの実用化開発」

2. 実施体制（研究開発項目 1 「疑似慣性 PCS の実用化開発」）

共同実施機関	
東京電力ホールディングス株式会社（幹事法人）	東京電力パワーグリッド株式会社
一般財団法人電力中央研究所	国立研究開発法人産業技術総合研究所
国立大学法人広島大学	国立大学法人北海道大学
国立大学法人東京大学	環境エネルギー技術研究所株式会社
三菱電機株式会社	沖縄電力株式会社
株式会社ネクステムズ	
再委託先	
国立大学法人香川大学	学校法人早稲田大学
一般財団法人電気安全環境研究所	独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校

3. 実施概要（研究開発項目 1 「疑似慣性 PCS の実用化開発」）

【期間】

2022 年度～2026 年度末（予定）

【目的】

再生可能エネルギーの主力電源化を可能とするため、次世代の系統安定化に必要な技術を実用化すること

【実施内容】

- ・実機を製作し、模擬システムなどを活用した評価試験を実施する
- ・疑似慣性 PCS の標準仕様や評価試験方法の取りまとめおよび系統連系規程の見直しに向けた提言を行う
- ・再エネ主力電源化に向けた技術課題の網羅的な洗い出しと課題解決策の検証評価を実施し、ガイドラインや規程整備に向けた検討を実施する

